

経営比較分析表（平成28年度決算）

石川県加賀市 加賀市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
68,699	26,629	非該当	7：1	

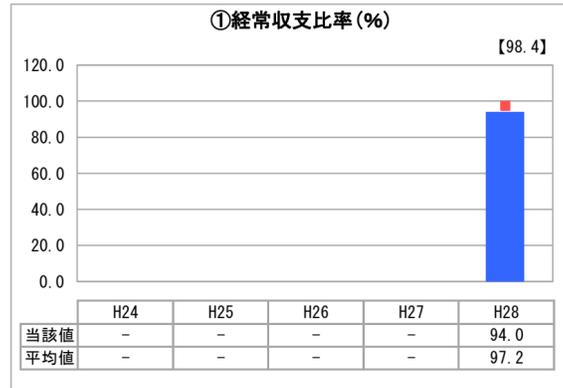
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

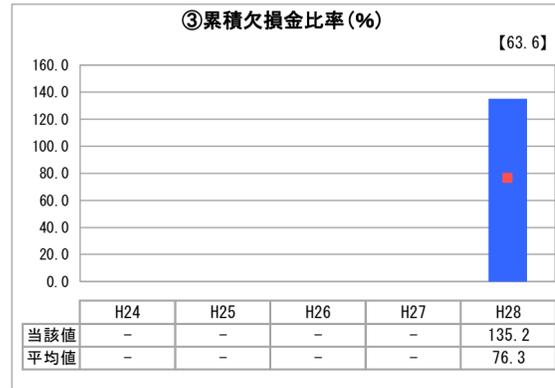
1. 経営の健全性・効率性



「経常損益」



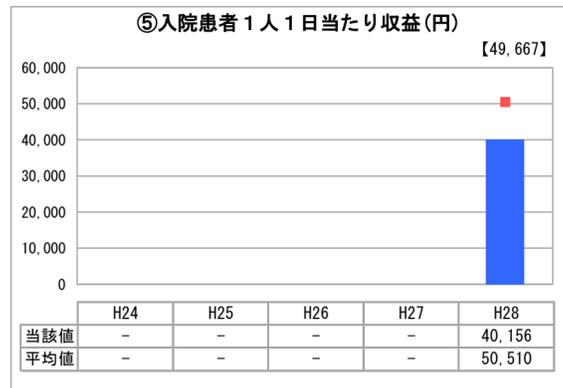
「医業損益」



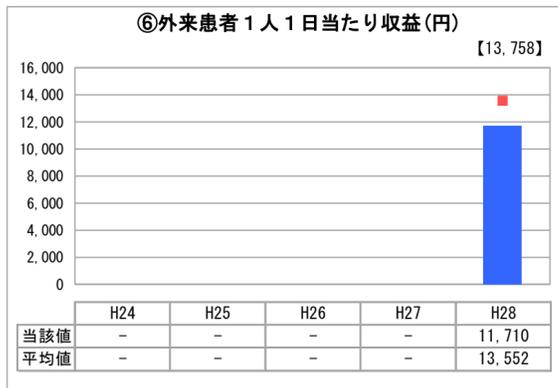
「累積欠損」



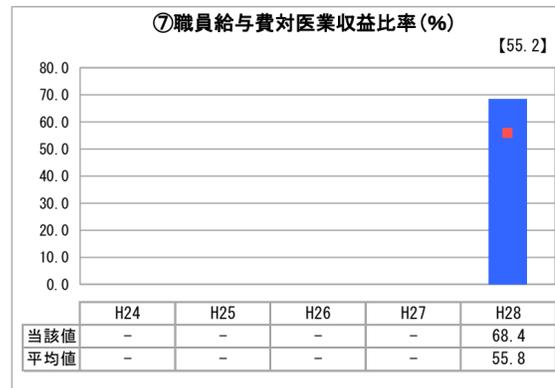
「施設の効率性」



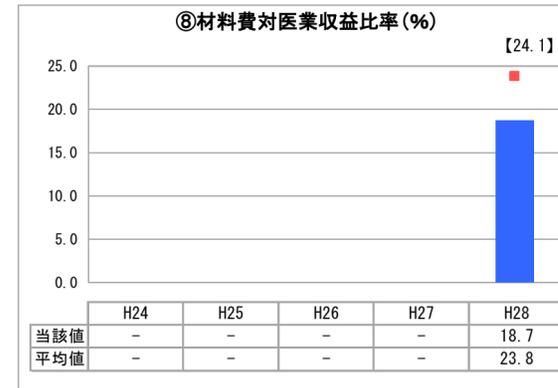
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

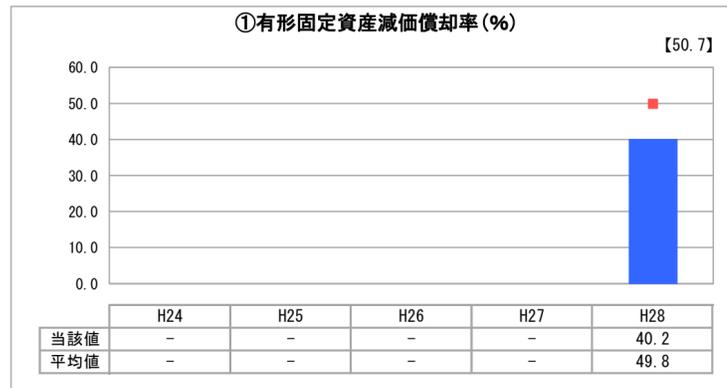


「費用の効率性①」

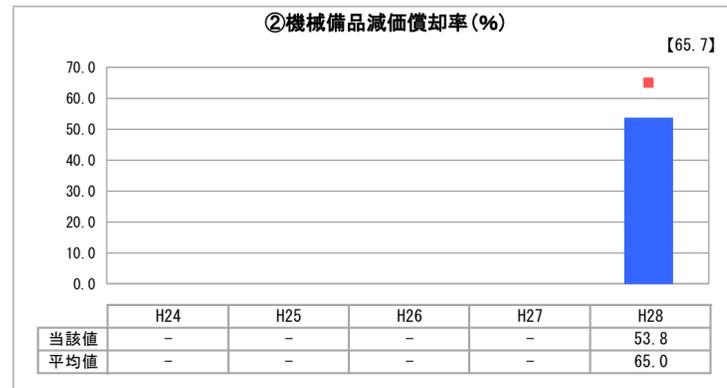


「費用の効率性②」

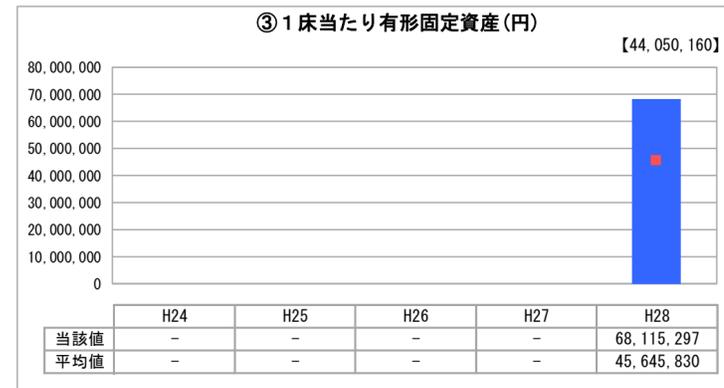
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ・市内唯一の急性期病院として救急搬送を断らない体制の維持・継続
- ・医療従事者育成環境の充実（医師、看護師）
- ・周産期の受入促進（市内唯一の分娩施設）
- ・地域包括ケアシステム構築に寄与する在宅復帰支援の充実と地域連携の推進（地域連携センターつむぎ）
- ・がん治療体制の充実
- ・認知症高齢者の増加に向け行政と連携した活動の促進

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率について平均を下回っている要因は、開院時の患者移送のための入院制限による影響です。③累積欠損金比率が平均より大きく上回っている要因は、旧病院からの累積分が上乗せされているためで今後黒字化を目指し改善していきます。高い病床利用率を維持するとともに、入院・外来収益については、断らない救急体制の維持・継続と併せ、医療機能の向上を図り改善に努めます。また、業務の効率性を高めることで職員給与比率の低減を目指します。

2. 老朽化の状況について

平成28年4月に、2つの病院を統合し、移転、新築開院したため減価償却率が低くなっている。1床当たり有形固定資産は、旧2病院の有形固定資産を有しているため高くなっている。

全体総括

医療資源の集約化と医療機能の向上を主な目的として統合した初年度は、高い病床利用率を維持し、順調なスタートを切ることが出来ました。今後は、病院改革プランに基づき、収益、費用双方の効率性を高め黒字化を目指します。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。